

学校評価 令和5年度

学校法人 高倉幼稚園

学校評価

高倉幼稚園

1、園の教育目標

幼児の心身ともに健全な成長の為に、次の指導目標を上げ、これらを習得できるよう教育環境を整える

- 日常生活習慣のしつけ
- 正しい社会人としての指導
- 基本的な生活態度を養う
- 思考力と想像力の芽生えを培う
- 強健な心身の発達の育成

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

前年度まで取り組んできた生活、教育面での目標をさらに充実させ、持続する。本年度は、コロナ禍が収束し五類に分類される予定なので、これまで制限されていた教育・行動面において普通の教育活動に戻り、コロナ禍前の質の高い教育活動を行うことを目標とする。

① 安全対策・安全教育・バスの安全対策

防犯、不審者対策

防火防災に努める

園内外で交通事故や、連れ去りに合わないよう指導

感染予防対策を継続

バス置き去り防止対策を実施

② 「非認知能力」を高める教育

友達と仲良くできるなどの協調性、意欲や興味をもち、物事に取り組み最後までやり遂げる力、自分で考え行動する力、問題に直面した時にすぐ諦めない気持ち、ある程度がまんできる気持ちなどを養う

③ 行事・教育に対しての新しい取り組み

新型コロナが五類に変更された後の行事、教育活動への取り組み

3、学校評価目標の取り組み状況

目標	取 組 状 況
<p>① 安全対策・安全教育 バスの安全対策</p>	<p>○5月、9月、1月 避難訓練実施 防災頭巾の着用 担任は避難用リュックをもって避難</p> <p>○10月 年長が消防署見学をして防火防災の学習をした</p> <p>○手洗い徹底・消毒を持続 マスク着用は自由</p> <p>【交通安全】</p> <p>○11月 園庭で交通安全教室を実施（大阪府交通安全教会） 年長全員が実際に横断歩道を左右確認して歩訓練やクイズで交通ルールの勉強をした</p> <p>○1月 交通安全教室（月組）</p> <p>○行事の時、大型絵本やDVDで防犯・防災・交通ルール等のお話をした</p> <p>【バス】</p> <p>○5月 バス置き去り防止装置を取り付け</p> <p>○職員間でバス送迎についての学習会を実施、事故のないように周知徹底</p> <p>○9月 ミニバスが追突事故を起こした 説明会を2度実施、運転手に安全教育を受講させた 別の運転手を探したがなかなか見つからず、11月中旬に新しい運転手に変わった 今後も事故が起きないように運転手に安全運転を教育指導していく</p>
<p>② 「非認知能力」を高める教育</p>	<p>○フリーデーを実施 年長 10月、2月 年中 5月、12月、2月 年少 3月 自分でしたい活動を決め、活動した</p> <p>○運動会や発表会の振り付けの一部分で、自分の表現したいポーズを自由に行う</p> <p>○制作の作品を自由に考えて作ることに取り組んだ</p>
<p>③ 行事・教育に対しての新しい取り組み</p>	<p>○遠足 雨天でも決行できる場所を選び実施</p> <p>○6月30日～1日 コロナ禍で1日遠足をしていたが、本年度は園内でお泊り保育を実施（ゲーム・夕食・マジックショー・花火）年長</p> <p>○運動会が小学校の運動場の整備のため、11月に実施になった</p> <p>○10月 制作展</p> <p>○12月 音楽会 年中・年長 鍵盤ハーモニカはパーテーションなし、歌もマスクなしで指導できるようになった</p>

○2月 発表会

音楽会を12月に行ったので、1日（例年は2日間）で実施

午前 年少・年中 二部制

午後 年長

コロナ禍中はセリフなしのオペレッタをしていたが、本年度はお遊戯とセリフありの劇を演じた。

○保護者の見学も運動会は制限なし、発表会は園児1名につき3名にした

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

目標	自己評価	学校関係者
① 安全教育・安全対策	B	A
② 「非認知能力」を高める教育	B	A
③ 行事・教育に対しての新しい取り組み	A	A
職員の意見まとめ		
<p>① 安全教育・安全対策：バスの置き去り防止において、二重確認することで乗り忘れも防ぐことができた。</p> <p>② 「非認知能力」を高める教育：フリーデーでは制作に取りくもうとする子どもが多かったが、何を作ればいいのか困っている子どもも多かった。 フリーデーでは何をして遊ぶか以外にも、何にどれくらい時間を使うか考える子どもも多く、よかった。 子どもに自分で考えさせる保育が少なかった。 満三歳児クラスでは、自分で考えて行動することが難しかった。</p> <p>③ 行事・教育に対しての新しい取り組み：運動会の練習時期が、暑さの心配なく進めやすかった。 すべての行事において保護者から満足のかえがあり、子どもも楽しんで取り組むことができていた。 新しく行った行事があり、よかった。</p>		

学校関係者の意見まとめ

- ① 安全教育・安全対策：バスの置き去り事故防止対策があってよかった。
よく取り組んでいて安心できた。
- ② 「非認知能力」を高める教育：フリーデイ時にいつもと違うクラスに自分で考えての活動時間があり自主性が育ててよかった。
フリーデイの事を知らなかった、告知があれば
「今日は何したの？」等、会話ができたと思う。
- ③ 行事・教育に対する新しい取り組み：いろいろな行事が定期的により楽しめた。
コロナが落ち着き楽しい行事が復活して嬉しかった。
たくさんの行事を安全に楽しく実施していて子どもも
毎回喜んでいてよかった。

5、今後取り組むべき課題

- ・目標をもって何かに取り組む、がんばりカード等で親子で共有
- ・安全第一で子どもたち一人一人が楽しく、色々な経験ができると活動を工夫する
- ・細かい作業の能力を高める制作を（例、折り紙）増やす
- ・ストレッチの時間を増やす